

## 中学校

### ① 相手の身になって聴くために

- ★人権感覚の育成に関わる指導内容  
【実践編】事例12：聴く技能を育てる指導  
【指導等の在り方編】P22～24

### ② 命の大切さについて考えよう

- ★効果的な学習教材の選定・開発  
【実践編】事例17：外部講師の講話の教材化／生命の大切さに関する教材  
【指導等の在り方編】P25～27

### ③ 情報社会と自己責任

- ★児童生徒の発達段階を踏まえた指導方法の工夫  
【実践編】事例29：中学校における取組  
【指導等の在り方編】P30～31

## 相手の身になって聴くために

学級活動「望ましい人間関係の確立」

### 1 題材について

生徒は、家庭や学校、地域の集団など様々な人間関係の中で生活している。これらの人間関係について振り返らせ、集団の中での行動や生き方について考え、望ましい人間関係を確立していくことが大切である。

また、現代の青少年については、人間関係の希薄さや他人に共感して思いやる心の弱さなどが指摘されており、人間関係を形成する力や自己表現力などをはぐくむ取組を進めていく必要がある。さらに、他者の感情をくみ取り、共感的に理解する技能は人権感覚を育成する上でも不可欠となる。

本題材では、相手の話を傾聴する技能に焦点を当て、その大切さや方法について話し合うことにより、安心して自分の意見を出し合える支持的な学級の雰囲気をつくることをねらいとする。そのために、ロールプレイングを取り入れた話し合いを行い、体験を通して相手の話を共感的に受け止めることの大切さに気付かせ、自分の言動を振り返り、よりよい人間関係づくりのために相手の話を能動的に聴こうとする態度を養う。

### 2 主な題材のねらい

◇友だちの話を傾聴することの大切さや、その方法について話し合い、学級での人間関係を豊かなものにしていこうとする態度や実践力を高める。

◆相手の話を傾聴し、気持ちを受けとめ、共感的に理解することができる。

<技能的側面>

### 3 指導のポイント

○導入のロールプレイングでは、相手の気持ちを考えない聴き方を体験することにより、これまでの自分の「聴く態度」を振り返り、相手の話を傾聴することの必要性を感じられるようにする。

○どうすればよい聴き手になれるのか、ブレーン・ストーミングの手法を活用して多くの考えを出させ、様々な視点から意見を集約できるようにする。

○集約した意見を使ったロールプレイングを行い、最初のロールプレイングとの違いを感じさせることで、傾聴の有用感や活用への意欲を高める。

○学習したことを日常化するため、グループや学級で話し合った「聴き方」を教室に掲示する。

#### 4 学習の概要（1時間取扱い）

※   → 「6 展開例」で示している学習

学習内容	指導上の留意点
<p><b>事前指導</b></p> <p>○「他の人々に対し思いやりの心をもつ」 （道徳）</p> <p>○日常指導・観察</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の存在の大切さに気付き、互いの存在を肯定的に受けとめようとする態度を養う。</li> <li>・生徒の日常生活における人間関係を把握しておく。</li> </ul>
<p><b>学習活動</b>（1時間）</p> <p>1 相手の気持ちを共感していない聴き方をロールプレイングで体験する。</p> <p>2 話の聴き方について考え、話し合う。 ○個人で考える。 ○グループで話し合う。</p> <p>3 話の聴き方について考える。</p> <p>4 グループで考えた話の聴き方を使って、ロールプレイングを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイングを通して、自分の行動や態度を振り返らせ、学習の必要性を感じられるようにする。</li> <li>・自分の経験をもとに、相手のことを考えた聴き方について考え、話し合うようにする。</li> <li>・グループで出された意見をもとに、協力して話の聴き方を集約できるように支援する。</li> <li>・2回のロールプレイングの違いにより、相手の話を傾聴することの大切さを実感できるようにする。</li> </ul>
<p><b>事後指導</b></p> <p>○みんなで考えた話の聴き方を教室に掲示する。</p> <p>○授業や日常生活で実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権コーナー等に、グループや学級で考えた話の聴き方を掲示する。</li> <li>・普段の授業や生活の中で活用できるように支援する。</li> </ul>

#### 5 準備

- 生徒の日常生活の様子を観察し、「聴き方」の実態や課題を整理しておく。
- ロールプレイング用カード
  - ※話し手用の原稿は、生徒自身が書いた文章を用いてもよい。生徒の日常生活でよく見られる場面を取り上げる。（3分程度）
- ワークシート
- 参考例（話の聴き方を集約する際の支援用）

## 6 展開例（1時間取扱い）

体験的な学習

### <目標>

◇ロールプレイングを通して、相手の話を傾聴することの大切さに気付き、学級における人間関係づくりに生かしていこうとする。

◆相手の気持ちを考えた聴き方を考えることができる。 <技能的側面>

主な学習活動	○教師の支援 ◇◆評価	備考
<p>1 相手の気持ちを考えていない聴き方を体験する。</p> <p>○資料を使い、ロールプレイングを行う。 （5分程度）</p> <p>○感想を出し合う。</p> <p>・いい気持ちはしないよ。 ・こんな人いるなあ。</p>	<p>○話し手（1人）、聞き手（4人）の役を演じさせ、感想を話し合わせる。</p> <p>○演技者と演技を見た生徒の感想や、「これでよいのだろうか」と問いかけることで、「話の聴き方」の学習の必要性を感じられるようにする。</p>	<p>資料</p> <p>ロールプレイングの進め方</p> <p>ワークシート</p>
<p>自分がされてうれしい聴き方を考えよう。</p>		
<p>3 話の聴き方について考える。</p> <p>○個人で、付せんに書く。</p> <p>○広い紙に付せんに貼りながら、グループで意見を出し合う。</p> <p>○似ているものを分類し、意見をまとめる。</p>	<p>○思い浮かばない生徒には、学習活動1のロールプレイングと逆の言動を考えさせるなど支援する。</p> <p>○出された意見(付せん)は否定せず、多くの考えが出せるようにする。</p> <p>◆相手の気持ちを考えた共感的な聴き方を考えることができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>付せん</p>
<p>4 相手の話を傾聴する方法やそのポイントを集約する。</p>	<p>○考えつかないときや、視点がそれたときは、参考例を示し支援する。</p> <p>参考例1 ①あいづち、うなずき ②目線、体を向ける ③最後まで聞く</p>	<p>参考例 ※参考例2を資料に掲載</p>
<p>5 相手の気持ちを考えた聴き方を体験する。</p> <p>○ルールを使った聴き方で、ロールプレイングを行う。 （5分程度）</p> <p>○感想を出し合う。</p> <p>・いい気持ちになった。 ・話がしやすい。</p>	<p>○ロールプレイングを通して、聴き方の違いを体感させる。</p> <p>○感想を出し合わせることで、共感的な傾聴のよさに気付かせる。</p> <p>◇相手の話を傾聴する大切さに気付き、生活に生かしていこうとする。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>6 まとめ</p>	<p>○集約したものを掲示し、学級生活に生かしていくことを伝える。</p>	

## 7 活用例

<小学校>

(例) 発達段階に応じて、台本の場面を工夫し、学習を行う。

<小学校・中学校・高等学校>

(例) 非攻撃的な自己主張(アサーティブネス)など「話し方・伝え方」について学習し、コミュニケーション能力や他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性を高める。

## 8 資料

<ロールプレイングの進め方>※ここでは、5人で行う場合を示す。

演技をする生徒に下のようなカードを配付します。話し手Aを1人、聴き手はBを1人、Cを2人、Dを1人の合計5人で行います。

○A(話し手)は、次の文章を読んでください。

(例) 最近、昼休みの生活の中で気になることがあります。それは、机の落書きの件です。かいている人は遊び半分だと思いますが、はたしてそれでいいのでしょうか？  
ある日、私が注意すると「どうせ消すからいいだろ!」と言われました。「鉛筆でかいているのだから消せばいいんでしょ。」という考え方はおかしいと思います。

○Aが話をしている時、B～Dの人は次のことを演じてください。

【聞き手】 B：つまらなさそうな態度で、黙って見ている。  
C：話し中、他の人に話しかける。  
C1：「なんだよ。そのくらいでねえ。」  
C2：「そんなのみんなやってるよ。」  
D：下を向いて、何か書いている。

◆ロールプレイングを見て(演じて)、どのように感じましたか？

<参考例2>※活用しやすいように工夫した例

参考例2

あ…相手の目を見て  
い…いっしょうけんめいに  
う…うなずきながら  
え…笑顔で  
お…おしゃべりしないで

<ワークシート>

## 相手の身になって聴くために

( )年( )組( )号( )

### 1 ロールプレイングの感想

### 今日のめあて

**自分がされてうれしい話の聴き方を考えよう。**

### 2 自分がされてうれしい話の聴き方を書いてみよう。

#### **たくさんのアイデアを出し、まとめていく方法**

- (1) 個人で一枚の付せんに1つずつ、  
「自分がされてうれしい話の聴き方」を書く。
- (2) 考えた聴き方を自由に出し合い、紙に貼っていく。  
※このとき、出された意見は否定しないようにする。
- (3) 出された意見（付せん）を、似ているものに分類する。
- (4) 班の意見をまとめる。

### 3 うれしい話の聴き方のポイントをまとめてみよう。

• • •

• • •

• • •

• • •

• • •

### 4 ポイントを生かしたロールプレイングの感想

# 命の大切さについて考えよう

道徳3(1)「生命尊重」

## 1 主題について

近年、生徒の生活様式が変化し、自然や人間とのかかわりの希薄さから生命の尊さについて考える機会が少なくなっている。また、いじめ、暴力行為、性に関する問題など、命を軽視した痛ましい事件が増加するなど、コミュニケーション能力の低下や未発達、自尊感情や自己肯定感の低下、過剰な情報にさらされているなどの現実がある。

このような時代だからこそ、命の大切さやお互いを尊重し合う態度、自分を大切にできる心の育成が不可欠であり、ともに生きる喜びや大切さに気付くような教材の活用が望まれる。

自他の命を尊ぶためには、まず自分の命の尊厳、尊さを深く考えることが大切である。そこで、本主題では、助産師の講話や保護者からの手紙を通して、生命の誕生や自分に対する様々な人々の願いを知り、自分の命の大切さを深く自覚させるとともに、他者の命を尊重する態度を身に付けることができるようにする。

## 2 主な主題のねらい

◇自分の成長を振り返り、保護者や自分の成長を支えてくれた様々な人たちの願いに触れ、自他の命を大切にできる心情や態度を養う。

◆生命の尊さや、自分や他の人たちが大切な存在であることに気付く。

<価値的・態度的側面>

## 3 指導のポイント

○学校での取組を保護者に伝え、理解を得るとともに協力体制をつくる。

○生徒一人一人の生活背景をしっかりと把握し、家庭環境等に十分配慮しながら進める。

○命に直接かかわる仕事として助産師を招き、体験談などの講話により、生命誕生のすばらしさや、命の大切さに気付くようにする。

○保護者や成長を支えてくれた人からの手紙（メッセージ）をもとに話し合うことで、保護者や成長を支えてくれた人に対する敬愛の念を深め、感謝の気持ちをもたせるとともに、自他の命の大切さについての自覚を深めるようにする。



4 学習の概要（1時間取扱い） ※  → 「6 展開例」で示している学習

学習内容	指導上の留意点
<p><b>事前指導</b>（総合的な学習の時間※）  <b>命の大切さをみつめよう</b>（1時間）                      ○保健体育の学習を思い出し、自分たちに起こっている体の変化と生命誕生のつながりを考える。                      ○VTR 資料を見て、生命の誕生について話し合う。</p>	<p>※本事例は、「総合的な学習の時間」と関連させた事例である。                      ・思春期は、命をはぐくむ機能が成熟すること（保健体育の学習）を確認する。                      ・VTR 資料を視聴し、人間が誕生することの素晴らしさや、自分の命について考えさせる。</p>
<p><b>助産師さんの話を聞こう</b>（2時間）                      外部講師（助産師）から、生命の誕生のすばらしさについて話をきく。                      ○赤ちゃんの人形の重さを体感する。                      ○妊娠中の母親の様子や、命の誕生を支える人たちの思いについて話を聞く。                      ○命や性に関する問題について話を聞く。                      ○助産師に質問や聞き取りをする。                      ・出産のときの様子                      ・命の尊さに関する体験 等</p>	<p>※外部講師は、産院で働く人や保護者など、地域の実態等に応じて決定する。                      ・話を聞くだけでなく、実感できるようにする。                      ・命の誕生には、多くの人たちの支えがあることに気付かせる。                      ・命をはぐくむ立場になることを自覚し、自分のこととして考えさせる。                      ・命の大切さについて、主体的に学べるよう支援する。</p>
<p><b>学習活動</b>（道徳：1時間）                      1 保護者や成長を支えてくれた人からの手紙を読む。                      2 自分の幼いころについて話し合う。                      3 手紙を読んで感じたこと、考えたことを話し合う。                      ・グループで話し合う。                      ・グループ代表の感想を聞く。                      4 教師の話を聞く。</p>	<p>※学級の実態等によっては、生徒がインタビューしたり、何人かの保護者の手紙を取り上げたりする。                      ・話しやすい話題を用意し、認め合う雰囲気高める。                      ・助産師の講話で学んだことと手紙の内容を重ねて考えさせ、自他の命についての考えを深めるようにする。                      ・教師自身の家族への思いを語る。</p>
<p><b>事後指導</b>                      ○保護者や成長を支えてくれた人への手紙を書く。                      ○命や人権についての考えを深める。                      （総合的な学習の時間、学級活動等）                      ※学級生活上の課題があれば、そうした問題とつなげて学習する。</p>	<p>・学習を通して感じたこと、考えたことを素直に伝え、書いてくれた人へ直接渡すようにする。                      ・許可を得て、感想や手紙を学級通信等で紹介する。また、3年生の進路指導の取組につなげていく。</p>

5 準備

- 保護者や成長を支えてくれた人からの手紙（協力依頼等を含む）
- 命の誕生に関するビデオ等の視聴覚教材
- 地域の外部講師（助産師）との打ち合わせ
- 講話に必要なもの（赤ちゃんの人形等）



## 6 展開例（1時間取扱い）

参加的な学習

<目標>

◇保護者や成長を支えてくれた人からの手紙を読み、自分に対する願いに気づき、自分や他の人たちの命を大切にしようとする心情を養う。

◆自分や他の人たちが大切な存在であることに気付く。<価値的・態度的側面>

主な学習活動	○教師の支援 ◇◆評価	備考
1 前時の復習として、生徒の感想を聞く。	○前時の学習で命の大切さについて触れている感想を紹介する。	前時の感想
2 学習のめあてをつかむ。		
手紙を読み、命の大切さについて考えよう。		
3 手紙（メッセージ）を読む。	○命の大切さを実感できるよう、あらかじめ手紙を書いてもらう。 ○プライバシーを守るなど、みんなが安心して手紙を読める環境づくりをする。	手紙
4 自分の幼児期について語る。		
お互いの幼いころについて、手紙をもとに語り合おう。		
○グループで、幼いころの様子について話し合う。	○話しやすい話題から始め、互いに認め合う雰囲気を高めていく。 ○自分の思い出と保護者の思い出の違いを考えさせるなど、保護者の思いに迫ることができるよう支援する。	ワークシート
○メッセージ（便せん）について話し合う。	○本人や手紙を書いた人の気持ちを大切にし、話せる内容について伝え合うようにする。 ○相手の気持ちを共感的に受け止めるよう指導する。	メッセージ
5 手紙を読み、感じたことや気付いたことを話し合う。 ○ワークシートに記入する。 ○グループで話し合う。	○これまでの学習と手紙にこめられた思いとを重ね、自他の命について考えるようにする。 ◆自分や友だちの大切さに気づき、言葉や文章に表していこうとする。	ワークシート
6 手紙を読んだり、友だちの発表を聞いたりした感想を発表する。	○発表を通して、感謝の気持ちや命の大切さを確かめるようにする。 ◇成長を支えてくれた人々の願いを受けとめ、自他の命の大切さについての考えを深めることができる。	
7 教師の話聞く。 ・教師の話聞く。 ・返事を書くことを知る。	○教師自身の家族への思いを語る。また、学習を通して気付いたことを大切に、自分なりに生かしていくよう伝える。	

## 7 活用例

○命の大切さについての学習において、学習内容や発達段階に応じた講話を設定する。

＜小学校・中学校・高等学校＞

（例）保育所や幼稚園で働く人の講話

（例）医療機関や消防署等で、救命活動に携わる人の講話

（例）福祉作業所や高齢者施設などにおいて人権課題と直接関わって働く人の講話

## 8 資料

＜外部講師（助産師）の講話の様子＞



＜生徒の感想＞※一部抜粋

○命を育むためには、命の大切さについてきちんと考え、話し合わなければならないことをあらためて感じた。将来、親になると思うが、その時は自己中心的ではなく相手の体や心を気遣ってサポートできるようになりたい。

○今日の講話で、自分の命をとっても大切にしたいという気持ちをあらためて感じた。お母さんが時間をかけて一生懸命頑張ってくれて生んでくれた自分が、今、ここにいるということは、とても幸せだと思う。

<保護者や成長を支えてくれた様々な方に書いてもらうシート>

## \_\_\_\_\_からの手紙（メッセージ）

このプリントは、「命の大切さについて考えよう」というテーマで行っている学習のまとめに使用し、お子さんに自分の命の大切さを感じてもらいたいと考えています。お手数ですが、御協力いただきますようお願いいたします。

1 お子さんが幼いころのことについて、教えてください。

(1) 幼いころに好きだった食べ物は何でしたか。

(2) 幼いころ好きだった遊びについて教えてください。

(3) お子さんは幼いころ、どんな子どもでしたか。

2 同封の便せんに、お子さんに対してのメッセージをお願いします。

※封筒に便箋とシートをセットに入れておく。  
※説明書を添え、生徒が自分の命の大切さについて考えを深めることができるよう、メッセージを書いてもらうことを依頼する。  
※可能であれば、幼い頃の写真などを同封してもらう。  
※質問の項目は、学級の実態等に合わせて決定する。また、生徒が直接インタビューすることも考えられる。

<ワークシート>

## 「命の大切さについて考えよう」

年 組 (                      )

- 1 自分への手紙を読んだり、班のみんなへの手紙を聞いて、気が付いたことを書きましょう。

- 2 他の班の人の感想を聞いて、自分が気付かなかったこと、同じ気持ちになったことなどを書きましょう。

# 情報社会と自己責任

技術・家庭科

## 1 題材について

社会においては、急速に情報化、デジタル化が進み、インターネットが利用できる家庭も急増している。また、若い世代を中心としてネットワーク端末としての携帯電話や携帯ゲーム機の急激な普及もある。その携帯端末を使い、子どもたちは自分たちでネットワークにアクセスし、情報の検索・閲覧を行うだけでなく、ソフトのダウンロードや個人情報の書き込み等ができる環境にある。

本題材では健全な情報社会の担い手として、インターネットの特性及び個人情報保護の必要性を知らせ、情報モラルの重要性を理解させる取組を通じて、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育てる。

## 2 主な題材のねらい

◇情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、情報を適正に扱うことができる。

◆個人情報の保護など、人権尊重の視点から情報発信について考え、自分自身の行為に責任を持ち行動しようとする。

<価値的・態度的側面>

## 3 指導のポイント

○個人情報、著作権、肖像権等を含む情報通信ネットワーク利用上のルールやマナーについての理解が深まるように、また自分自身の問題として考えることができるように、日常生活につながる教材、教具の工夫を行う。

○ICTを活用し、疑似体験的な活動を通して情報モラル等についての理解を深めるとともに、日常生活への実践意欲の喚起を図る。

○話し合い活動を取り入れることにより、個人の考えの幅を広げるとともに、互いを認め合おうとする態度や実践力の育成を図る。

#### 4 学習の概要（3時間取扱い）

※   → 「6 展開例」で示した学習

学習内容	指導上の留意点
<p><b>1 情報社会の実態を知ろう。</b> （1時間）</p> <p>○情報社会の実態について知り、基本的な情報利用の仕組みを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新聞記事や実際の事例等を扱い、身のまわりの問題としてとらえさせる。その際、情報社会に対するマイナスイメージをもたせないよう留意する。</li> <li>• 安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて押さえる。</li> </ul>
<p><b>2 情報発信のルールやマナーについて考えよう。</b>（1時間）</p> <p>○教師作成のブログ（仮想Webページ）を見る。</p> <p>○資料（DVDやWeb）を見て考える。</p> <p>○ネット上へ公開する際の問題について話し合う。</p> <p>○情報通信ネットワーク上で、情報を発信する際のルールやマナーに気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人情報、著作権、肖像権、知的財産、他者の名誉や利益等、保護すべきことや問題点に気付かせるために、あえて問題のある仮想Webページや仮想ブログ等を扱う。</li> <li>• 仮想Webページの内容については学級の取組や学校行事等の身近なものにし、自分の問題として考えさせる。</li> <li>• Webページが準備できない場合は、ネット上に公開する場合に問題のある、人物写真（肖像権）や文章（個人情報）等を準備する。</li> <li>• ICTを活用することにより、疑似体験的な活動を取り入れる。</li> <li>• 話し合いの場面では意見交換が活発に行われるように工夫する。</li> </ul>
<p><b>3 情報社会の中で生きていくために大切なことはどんなことだろう。</b>（1時間）</p> <p>○情報の有用性と危険性について考え、情報を適切に活用するための手段と態度を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前時での気づきを大切に、実際にどうすればよいかを考えさせる。</li> <li>• 生徒たちの考えを大切にしながら、犯罪に巻き込まれることや自分が犯罪の加害者になる恐れがあることを補足する。</li> </ul>

#### 5 準備

- 学校生活や行事を題材にした仮想Webページやブログを作成しておく。作成するブログはあえて、個人情報、著作権や肖像権において問題となるものとする。（ネット上にアップロードはしない。）



6 展開例1 <情報モラル教材「春野家ケータイ物語」DVD利用>

(1時間取扱い)

体験的・協力的な学習

<目標>

◇情報発信の問題点に気づき、情報発信のルールやマナーについて考える。

◆人権が守られている状態にあることを大切に、情報の真偽を適切に判断しようとする。

<価値的・態度的側面>

主な学習活動	○教師の支援 ◇◆評価	備考
1 前時の学習内容を振り返る。	○安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて振り返る。 ○生徒たちにとって身近な学校生活や行事等を材料に写真等を使って事前にブログ(※1)を作成しておき、提示する。	教師作成 ブログ
2 教師が作成したブログを見る。		
3 本時の目標を知る。		
情報発信のルールやマナーについて考えよう。		
4 ドラマを見て、内容を整理する。	○考える視点を与えるため、ドラマの場面の写真を使って内容を整理する。 ○公開できるものとできないものを2色の付せんに書き分けることにより、視覚的に自分の意見を整理できるようにする。 ◆人権が守られているかを確認、情報を適切に判断しようとする。	DVD「春野家ケータイ物語」DVD付属写真 青色、赤色の付せん
5 ドラマの中のブログの記事について、公開してもよいかどうかを考え、付せんに理由を書く。		
6 グループで4つの記事について意見を出し合う。 ・公開できるかどうか(理由) ・どこに問題があるのか ・どんなルールやマナーが必要か		
7 話し合いの内容を発表し、要点を整理する。	○色分けした付せんをワークシートに貼ることで、グループの意見を整理しやすくする。 ◇情報発信の問題点に気づき、ルールやマナーについて考える。	ワークシート
8 本時の内容をまとめる。	○発表内容が多い場合は、いくつかの記事に絞って発表させる。 ○生徒が考えたルールやマナーを認め、それをもとに教師が作成したブログの問題点を確認し、必要に応じて補足していく。	教師作成 ブログ ワークシート

※1 携帯電話を所持している生徒たちは、ネットにアクセスしブログ(ウェブログ)やプロフ(プロフィール)を閲覧していると考えられる。また、自作のブログや他人のブログに書き込みを行うことも考えられる。自分たちの問題として課題意識を持たせるために、提示するものをあえてブログとしたが、提示するものはネット上に公開した場合に問題となるような写真や文章等でもよい。

展開例2 <情報モラル教材「春野家ケータイ物語」DVDが利用できない場合>  
(1時間取扱い) **体験的・協力的な学習**

<目標>

○情報発信の問題点に気づき、情報発信のルールやマナーについて考える。

◆人権が守られている状態にあることを大切に、情報の真偽を適切に判断しようとする。  
<価値的・態度的側面>

主な学習活動	○教師の支援 ◇◆評価	備考
<p>1 前時の学習内容を振り返る。</p> <p>2 本時の目標を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     情報発信のルールやマナーについて考えよう。                 </div>	<p>○安全に情報を利用するための基本的な仕組みについて振り返る。 (ID、パスワード、フィルタリング、ウィルスチェック等)</p>	<p>フラッシュカード</p>
<p>3 教師が作成したWebページを見る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     このWebページをそのままネット上に公開しようと思いますがいいですか？                 </div>	<p>○生徒たちにとって身近な学校生活や行事等を材料に、写真等を使って仮想Webページを作成しておき、提示する。あえて個人情報や著作権等、公開に問題があるものを用意する。</p>	<p>仮想Webページ</p>
<p>4 Webページの記事や画像について、公開してもよいかどうかを考え、付せんに理由を書く。</p> <p>5 グループでWebページの課題について意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開できるかどうか(理由)</li> <li>・どこに問題があるのか</li> <li>・どんなルールやマナーが必要か</li> </ul> <p>6 話し合いの内容を発表し、要点を整理する。</p>	<p>○公開できるものとできないものを2色の付せんに書き分けることにより、視覚的に自分の意見を整理できるようにする。</p> <p>◆人権が守られているかを確認、情報を適切に判断しようとする。</p> <p>○色分けした付せんをワークシートに貼ることで、グループの意見を整理しやすくする。</p> <p>◇情報発信の問題点に気づき、ルールやマナーについて考える。</p> <p>○発表内容が多い場合は、課題を絞って発表させる。</p>	<p>ワークシート 青色、赤色の付せん</p>
<p>7 本時の内容をまとめる。</p>	<p>○生徒が考えたルールやマナーを認め、それをもとに教師が作成したブログの問題点を確認し、必要に応じて補足していく。</p>	<p>仮想Webページ ワークシート</p>

## 7 活用例

<小学校高学年>

○ Web ページの問題点（個人情報、著作権、肖像権の侵害）を気付かせる場面では、言葉が難しいため、わかりやすい説明や工夫が必要である。

<他教科>

○ 道徳・学級活動等でも取り組める内容である。

## 8 資料

<参考資料>

- ・ 情報モラル教材「春野家ケータイ物語」DVD 5「責任ある情報発信」  
(独立行政法人メディア教育開発センター)

※資料に関するホームページ（“キッズ”“携帯”“活用”プロジェクト）

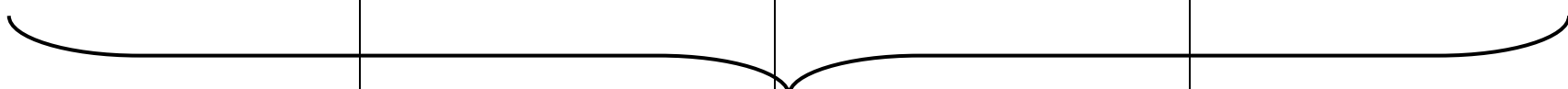
<http://kids-ktai.jp/index.html>

# ワークシート（例）

情報発信のルールやマナーについて考えよう（情報社会と自己責任）

※このシートに付せんを貼り、発表にも使用するため、用紙は大きめ（A3以上）が望ましい。

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

	場面1	場面2	場面3	場面4
写真	 <p>場面が多い場合は減らす</p>			
公開できるか できないか	<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">公開できる意見</div> <div style="background-color: #FF69B4; padding: 5px;">公開できない意見</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>この部分には場面の写真を入れる。著作権や個人情報、肖像権等の課題がある写真を使う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>この部分に付せんを貼る。上の場面の写真を見て、公開できるものと公開できないものを色分けして、理由を書く。</p> </div>		
班の 考え	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>班の考えをまとめて発表する内容を書く。 （この欄をなくして、公開できるかできないかのスペースを大きくしてもよい。）</p> </div>			

52